



報道関係者各位

ハイアットが手がける日本初上陸のパーソナルスタイル ホテル
「アンダーズ 東京」のプレオープニングスペースが9/6 オープン
 ～来夏の開業に先がけ、婚礼予約の受付やアンダーズスタイルのイベントを開催～

2014年夏に開業となる、ハイアットが手がけるこれまでにないパーソナルスタイル ホテル「アンダーズ 東京」（東京都港区虎ノ門）は、プレオープニングスペース「アンダーズ スタジオ」を、2013年9月6日（金）より六本木ヒルズけやき坂通りにオープンし、婚礼予約の受付を開始するとともに、アンダーズスタイルのイベントなどを開催してまいります。

ヒンディ語で「パーソナルスタイル」を意味する「アンダーズ」は、2007年にロンドンのリバプールストリートで誕生しました。自分らしいスタイルで、暮らすように、過ごし、楽しむことができる、パーソナルスタイルを叶えるホテルとして、世界中の人々を魅了してきました。アンダーズを象徴する3つの言葉、それは Inspiring（刺激的）、Indigenous（地域の個性）、そして Unscripted（筋書きのない）。ホテルという従来の枠組みを超え、限りなく自由で垣根のないアンダーズでは、常に刺激的な発想が交わされ、深まっていきます。地域文化を尊重し、その地域でしか生まれえない心地よさと、お客様のスタイルに合わせた筋書きのないサービスを提供し、友人の家を訪ねているような喜びを感じることができる空間です。

世界で12軒目のアンダーズとなる（*1）「アンダーズ 東京」は、現在建設中の地上52階建ての「虎ノ門ヒルズ」内に開業し、47階から52階まで6フロアをホテル本体が占めます。164の客室のほか、東京の素晴らしい景色を一望できる52階には、日本の高層ホテルとしては初めてのオープンエアスペースを含むルーフトップバー、アウトドアテラスのあるイベントスペース、都内で一番高い場所に位置する（*2）独立型チャペルなどを設けます。トニー・チー氏と緒方慎一郎氏とのコラボレーションにより、手触り、加工しすぎない素朴さから匂いに至るまで、日本人が大切に「素材の本質」に重点をおいた内装デザインとなっています。

またアンダーズでは、地元のクリエイターなどによるソーシャルイベント「アンダーズ サロン」を定期的で開催しています。ヨーロッパに起源をもち、文学、アート、哲学、政治を議論する社交の場「サロン」にちなんで名づけられた「アンダーズ サロン」では、ホテルのお客様や地域の方々と一緒にクリエイティブなコミュニティを創造していくことを目指しています。アムステルダムでは地元のファッション・デザイナーを招いてのファッションショー、ニューヨークではタトゥー・アーティストによるセッション、カリフォルニアでは地元ワイナリーとワインラベルアーティストのイベントなど、地域の個性を生かした、感性を刺激する場となっています。

「アンダーズ スタジオ」では、アンダーズならではのイベントを随時開催していくほか、婚礼予約サロンとして、アンダーズ 東京が提案する新しいスタイルのウエディングを発信していきます。

アンダーズ スタジオ

2013年9月6日（金）オープン
 東京都港区六本木 6-9-1 六本木ヒルズ
 六本木ヒルズけやき坂通り 1F
tokyo.andaz.hyatt.jp



そしてこのたび、アンダーズ 東京 総支配人が着任いたしました。アンダーズ ブランドの世界第一号ホテルである英国の「アンダーズ リバプールストリート ロンドン」で総支配人を務めたアルノー ド サン＝テグジュペリが世界のどのアンダーズとも違う、“東京らしい”アンダーズを作りあげます。

着任にあたりアルノー ド サン＝テグジュペリは、「2014年の夏、東京にアンダーズブランドを迎えることを大変光栄に思っています。虎ノ門は、趣深い過去とダイナミックな未来をあわせ持つ、とても刺激的なエリアです。多彩な東京の文化とアンダーズのDNAは素晴らしく融合すると確信しています。私は"arrive as a visitor, depart as a local"という言葉をよく使うのですが、お客さまとして訪れた皆さんが、お帰りになる時はアンダーズ 東京に自分の家のような愛着を感じながら出発いただけるような、そんな場所にしたいと思います。来年の夏、皆さんをお迎えることを心から楽しみにしております。」と述べています。

*1*2 2013年9月現在予定

アンダーズ 東京 完成イメージ (2013年9月現在)

1F エントランス



51F アンダーズラウンジ/レセプション



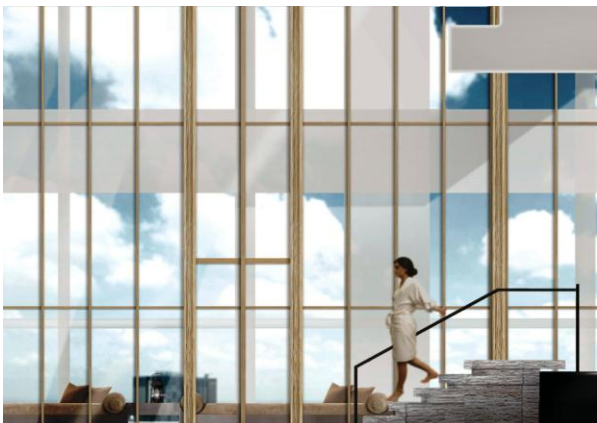
客室



客室



37F スパ



51F レストラン



52F バーテラス



51F からの眺望



52F スタジオ



Hyatt Hotels Corporation について

ハイアット ホテルズ コーポレーション(本社：米国イリノイ州シカゴ)は、ハイアットが誇る洗練されたおもてなしと心地よい寛ぎを提供する、世界有数のホスピタリティ企業です。世界各地で働くハイアットスタッフ一人ひとりが、お客様の人生に感動と輝きをもたらす“本物のホスピタリティ”を提供しています。現在、世界中でパークハイアット、アンダーズ、グランドハイアット、ハイアット、ハイアットリージェンシー、ハイアット プレイス、ハイアットハウスのホテルブランドを管理、所有、開発、フランチャイズ経営しています。また、ハイアットホテルズコーポレーションの傘下には、ハイアットレジデンスとハイアットレジデンスクラブを展開、運営、販売またはライセンス契約するハイアットレジデンシャルグループ, Inc があります。 2013年6月30日現在、ハイアットホテルズコーポレーションのポートフォリオは世界46ヶ国で524施設です。詳しくは <http://www.hyatt.com> (英語)をご覧ください。)

将来予測に関する記述について

本プレスリリースに含まれる記述で歴史的事実でないものは、1995年米国私募証券訴訟改革法(Private Securities Litigation Reform Act of 1995)が定める「将来予測に関する記述」(Forward-Looking Statement)に該当します。かかる記述は、当社の計画、戦略、財務実績、将来見通しもしくは将来事象に関する記述を含み、また予測困難な既知もしくは未知のリスクに関わります。このため、当社の実際の成果や業績は、将来予測に関する記述に明示または暗示されている内容と大きく異なる場合があります。かかる記述の文中にある「かもしれない(may)」、「可能性がある(could)」、「期待する(expect)」、「意向である(intend)」、「計画している(plan)」、「求める(seek)」、「予想する(anticipate)」、「考えている(believe)」、「予測する(estimate)」、「予想する(predict)」、「潜在的(potential)」、「続ける(continue)」、「あり得る(likely)」、「するつもりである(will)」、「するかもしれない(would)」その他これらに類する単語や類似的表現、又はその否定形の使用によって、当該文章が「将来予測に関する記述」であると判断できることがあります。「将来予測に関する記述」は、当社及び当社の経営陣によってその内容が妥当であると判断されていながらも、必然的に不確かな性質の予測及び前提に基づくものです。現在の期待と実際の結果との間に大きな相違をもたらす要因としては、現在の景気低迷の落ち込み度合いとその継続期間、当事業や旅行・レジャー業界における消費水準と顧客の信頼、客室稼働率や平均宿泊料金の低下、将来起こり得るテロ攻撃などの敵対行為や旅行に影響を及ぼす敵対行為発生の恐れ、旅行関連の事故、当社顧客の嗜好や選好の変化、提携業者や労働組合との関係、労働法の改正、他の資産所有者、フランチャイズ加盟者もしくはホスピタリティ事業パートナー等の財務状況及びこれら当事者と当社との関係、将来的な買収及び処分並びに新たなブランドコンセプト導入に伴うリスク、当社が事業を行う業界や市場における競争環境の変化、法的手続の結果、連邦・州・地域または外国の税法の改正、為替相場の変動、資本市場の一般的な価格変動や当社の資本市場へのアクセス力等々が含まれます。かかるリスク及び不確定要素については、米国証券取引委員会に提出されている各種報告書(書式10-Kによる年次報告書を含む)において、より完全に記載されてい

す。本プレスリリースの配信日現在において発表された将来予測に関する記述に過度に依拠されることのないようご注意ください。当社は、適用法令によって義務付けられる場合を除き、実際の結果、新たな情報、将来の事象、前提条件の変化、その他将来予測に関する記述に影響を及ぼす要素の変化を、かかる記述に反映させるように将来予測に関する記述を公的に更新する義務を負いません。仮に、当社が将来予測に関する記述の1つまたは複数について更新した場合であっても、そのことから、その後、かかる記述又は他の将来予測に関する記述に関してさらなる更新がなされることを意味するものではありません。

本件に関するお問合せ先

アンダーズ 東京 開業準備室 / 遠藤真理子 TEL: 03-6830-7751 FAX: 03-6830-1050 mariko.endo@andaz.com



ハイアットが手がける日本初上陸のパーソナルスタイル ホテル

アンダーズ 東京 概要

◆開業

2014年夏（予定）

◆経営会社

株式会社 森ビルホスピタリティコーポレーション（森ビル株式会社 関連会社）

◆運営会社

ハイアット インターナショナル アジアパシフィック リミテッド（ハイアット ホテルズ コーポレーション 関連会社）

◆総支配人

アルノー ド サン＝テグジュペリ（Arnaud de Saint-Exupéry）

◆インテリア設計

トニー・チャー

Tonychi and Associates 創立者兼代表取締役。1984年の創立以来、プランニング、コンサルティング、インテリア、建築、ランドスケイプデザインやアーバンプランニングの開発から施工まで手掛ける。アンダーズ フィフスアベニュー / パーク ハイアット 上海 / グランド ハイアット 東京のレストラン（マデュロ、オークドア、チャイナルーム）など。

緒方慎一郎

SIMPLICITY 代表 / クリエイティブディレクター。自社ブランドのみならず、建築、インテリア、プロダクト、グラフィックなど多岐にわたり活動を展開する。

WASARA クリエイティブディレクター。東京大学総合研究博物館特任准教授。JPタワー学術文化総合ミュージアム「インターメディアテク」 / 八雲茶寮 / WASARA（紙の器） / 山荘無量塔など。

◆所在地

東京都港区虎ノ門1丁目26番他

環状第二号線新橋・虎ノ門地区第二種市街地再開発事業Ⅲ街区に建設中の地上52階建て「虎ノ門ヒルズ」内

◆規模

建物内階数：1階部分、37階部分、47～52階

延床面積：約25,000㎡（駐車場除く）

施設：総客室数164（スイート16含む）、料飲施設4、宴会施設3、その他（スパ&フィットネス、チャペル）

◆アクセス

東京メトロ銀座線「虎ノ門」駅2番出口より徒歩で約5分

東京メトロ日比谷線「神谷町」駅4a出口より徒歩で約6分

JR線「新橋」駅鳥森出口より徒歩で約11分

羽田空港より車で約30分、成田空港より車で約80分

◆フロア構成

52階

- ルーフトップバー
- バーテラス
- アンダーズスタジオ 1 (210 m²/オープンキッチン付/最大収容人数 180名/正餐 80名)
- チャペル (100 m²/着席 70名)
- テラス

51階

- アンダーズラウンジ/レセプション
- レストラン (214席/個室 3/キッチン付プライベートダイニングスペース/バーラウンジ)
- アンダーズスタジオ 2 (260 m²/最大収容人数 220名/正餐 100名)
- アンダーズスタジオ 3 (100 m²/オープンキッチン付/最大収容人数 30名/正餐 12名)
- ミーティングルーム 2室 (各 100 m²/いずれも 2分割可能/最大収容人数 100名/着席 40名)

47~50階

客室 164室 (50 m²~200 m² ※予定)

37階

スパ&フィットネス (スイミングプール/スパトリートメント 5部屋/フィットネスジム)

1階

カフェ ダイニング、ペストリー&ベーカリーショップ

◆アンダーズの特徴的な施設とサービス

アンダーズラウンジ

到着したゲストを最初に案内するのが、アンダーズラウンジ。エスプレッソからワインまで、ゲストが好きな飲み物を片手に、友人宅のリビングのようにリラックスできる空間。ゲスト同士が集い、つながる場所となっている。

アンダーズホスト

フロント、ベルアテンダント、コンシェルジュは、アンダーズには存在しない。ゲストを迎えるのは、マルチタスクのアンダーズホスト。iPad を使ったチェックインをはじめ、ゲスト一人ひとりのスタイルに合わせて案内する。

アンダーズゲストルーム

アンダーズでは、ミニバーのソフトドリンクとスナック、WiFi インターネット接続、市内通話はすべて無料。家のようにくつろげる、ストレスフリーの環境を提供している。

アンダーズレストラン・バー

地域文化を尊重するアンダーズでは、地元の食材を多用し、オーセンティックで奇をてらわないメニューを提案。

アンダーズスタジオ

ショーキッチンやコーヒーバーを備え、ゲストとシェフあるいはゲスト同士のコミュニケーションが生まれやすい、フレキシブルなレイアウトと機能的デザイン。新しいパーティースタイルが共に創られていくイベントスペース。

アンダーズサロン

さまざまな分野で才能を発揮するクリエイターやオピニオンリーダーが集う、インタラクティブなソーシャルイベント。地元のクリエイティブな才能も積極的に育てている。

◆アンダーズ 東京のロゴについて

地域文化を尊重し、その地域でしか生まれない心地よさを大切にしているアンダーズ。「アンダーズ 東京」のロゴは、「Andaz」の右に「TOKYO」そして「TORANOMON HILLS」とで構成されている。アンダーズ 東京は、虎ノ門ヒルズで新たな文化と未来を育みながら、国際都市・東京を象徴する魅力ある地域とホテルの発展を目指していく。



※上記概要は 2013 年 9 月 5 日現在のものです、変更になる可能性があります。

本件に関するお問合せ先

アンダーズ 東京 開業準備室/ 遠藤眞理子 TEL: 03-6830-7751 FAX: 03-6830-1050 mariko.endo@andaz.com



アンダーズ 東京 総支配人
 Arnaud de Saint-Exupéry
 アルノー ド サン＝テグジュペリ

PROFILE

レンタカー会社（Avis）にて6年間勤務の後、フランス国内および英国国際本部にて様々なマーケティング部門の職務に従事し、2001年7月にフランス担当マーケティング部長としてハイアットに入社。フランス国内のハイアットホテルの営業およびマーケティング活動に精力を傾けるとともに、パークハイアットパリ-ヴァンドームの開業に携わった。

その後1年間、SWENA（南西ヨーロッパ・北アフリカ）地区担当セールス&マーケティング部長を務め、2006年、パークハイアットパリ-ヴァンドームの支配人に就任。

さらにハイアットグループの新たなホテルブランド、アンダーズの立ち上げに伴いロンドンへ移り、2007年11月16日に開業した初のアンダーズで総支配人を務める。

そしてこの度、日本初上陸となるアンダーズの総支配人に就任。「星の王子さま」を書いたアントワヌ ド サン＝テグジュペリは大叔父にあたる。

[経歴]

1993.9～1994.3	BMW パリ アシスタント セールスプロモーション マネージャー
1994.4～1995.7	Agence Française de Développement（アフリカ・ブルキナファソ） 海外ボランティアサービス（フランス信用機関）
1995.8～1998.8	AVIS レンタカー（フランス・パリ） マーケティングプロダクトマネージャー
1998.9～1999.9	Avis Europe（英国ロンドン） マーケティングプロジェクトマネージャー
1999.10～2001.6	Avis Europe（英国ロンドン） Eコマース担当マーケティングマネージャー
2001.7～2004.12	ハイアット インターナショナル（フランス・パリ） フランス担当セールス&マーケティング部長 パークハイアットパリ-ヴァンドームの開業準備業務に参画
2005.1～2006.4	ハイアット インターナショナル（フランス・パリ） SWENA（南西ヨーロッパ・北アフリカ）地区担当セールス&マーケティング担当部長
2006.5～2007.12	パークハイアットパリ-ヴァンドーム ホテル支配人
2008.1～2013.8	アンダーズ リバプールストリート（英国ロンドン）総支配人
2013.9～	アンダーズ 東京 総支配人に着任

本件に関するお問合せ先

アンダーズ 東京 開業準備室/ 遠藤真理子 TEL: 03-6830-7751 FAX: 03-6830-1050 mariko.endo@andaz.com